

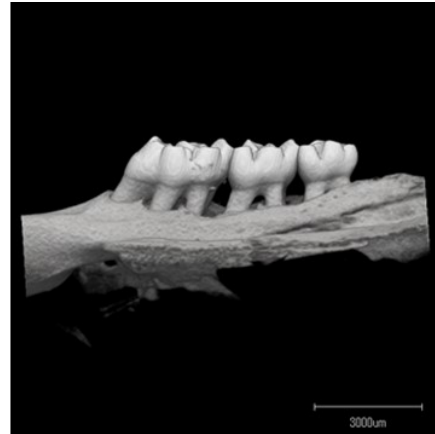


歯周炎モデル

「歯周炎」とは歯周病原性細菌の感染による疾患であり「歯肉炎」と決定的に異なるのは歯槽骨を吸収することです。歯肉炎や歯周炎を含めた歯周病は、歯を喪失する大きな原因となっています。今回はラット及びビーヌでの「歯周炎モデル」をご紹介します。

小動物を用いた歯周炎モデル

使用動物：ラット（Slc:Wistar）、雄、5週齢
試験方法：上顎の大臼歯にカラゲニンを浸漬した縫合糸を結紮して留置し、1週間に1回カラゲニンを塗布する。3～4週間後に摘出する。

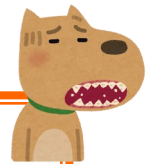


ラットのマイクロCT画像（左：無処置、右：結紮+カラゲニン）

結果：縫合糸の結紮とカラゲニンの塗布により、歯槽骨の低下が認められた。

大動物を用いた歯周炎モデル

使用動物：イヌ（ビーグル）、雄、22ヵ月齢
モデル作製：下顎の小臼歯に縫合糸を結紮して、8週間飼育する。
評価方法：歯周ポケット検査〔歯周ポケットの深さ、Bleeding on probing（BOP）〕



歯周ポケット検査

観察時期	歯周ポケットの深さ（mm）	BOP
モデル作製前	1～2	-
モデル作製後8週	2～4	+

結果：歯垢の沈着が認められ、モデル作製後8週で歯周ポケットの深化とBOPが確認された。